

(1) 現状

① 新たな施設の整備に伴う移動需要が発生

須頃地区（燕三条駅周辺）

- ・ 三条市立大学の開学（R3年4月）
- ・ 県央基幹病院の開設（R5年度）等

まちなか（北三条駅周辺）

- ・ 図書館等複合施設「まちなか」のオープン（R4年7月）

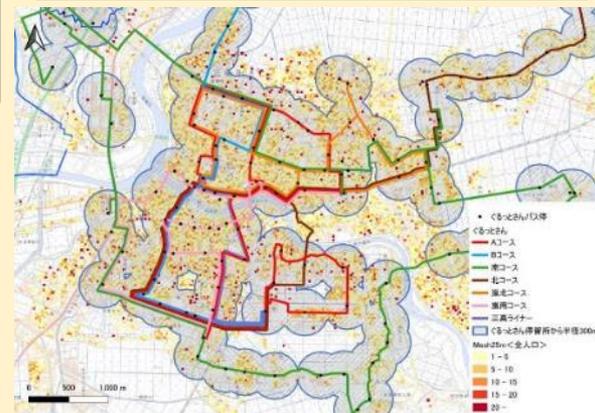
市学生まちなか居住促進
事業補助金対象エリア



(2) 課題

- まちなかに居住している学生の大学への移動手段の充実
- 自家用車を持たない学生等のまちなかへの移動手段の充実

② バス路線の重複等による非効率な運行



- 乗車実績が少ない路線がある（**空気バス問題**）
- 本町周辺や嵐南の一部で**路線が重複している**

(3) 路線別の検討内容

- 一定の移動需要が見込める場合、バスで対応することが適切（安価、予約不要、大人数） ⇒ **新規路線の検討**
- 路線の新設に当たっては、車両及び運転手の確保、調整が必要 ⇒ **既存の循環バス路線の見直しを検討**

路線	検討の方向性	変更内容・見直しの視点	変更時期	備考（補助金等）
【変更】三高ライナー → 三高・県央工業ライナー	県央工業高校側の停留所を追加、夕方便新設	高校生の移動需要に対応	令和4年4月～	非補助路線のため4月から実施
【新設】燕三条駅周辺とまちなかを結ぶ路線「燕三条ライン」	まちなか～大学の移動手段の確保 ⇒ ・ まちなかに居住する学生の増加 ・ まちなか活性化	・ 大学及び専門学校の授業時間に対応 ・ これまで付近を通っていなかった北三条駅（まちなか）周辺を經由	令和4年10月～（予定）	10月前の変更は既存の路線に係るフィーダー系補助金を返還するため、交通開始年度の10月から実施できるよう検討
【既存の見直し】Aコース、Bコース、北コース、南コース、嵐南コース、嵐北コース	利用実績及び他路線との重複等を勘案し、便数・ルートの変更を検討	・ JRダイヤとの接続を意識 ・ 新保裏館線等新規のルート設定による時間短縮 ・ 需要に応じた増減便 ・ 代替便による廃止 等		



前回協議済

方向性について今回協議

